



青年委員会だより



平成 13 年 11 月 1 日 (第 21 号)

(社) 青森県建築士会青森支部青年委員会

【報告】第 44 回建築士会全国大会

去る 11 月 5 日未明、大会参加者一向は貸切バスにて仙台市へ向けて建設会館を出発しました。当日は生憎の雨で、東北道を降りると、渋滞に巻き込まれ、残念ながら開会式には間に合いませんでした。

前泊組と無事合流・受付の後、各々フォーラムを見て回りました。少し早い昼食(なかなか洒落たお弁当でした)を取ると、いよいよ 12:00 から青森支部の発表です。会場となるエルパークへと集合しました。

前夜の予行練習(景気づけ?)のおかげか、黄金崎さんの発表も、今までの中で最高の出来栄でした。鼻真目に見なくても、他のどの支部よりも素晴らしい発表でした。

フォーラム終了の頃には天気もすっかり回復(まるで発表者の心境のようですね...)その後、式典に参加。支倉常長の VTR と宮城県知事のユーモアのある歓迎の挨拶が印象に残りました。宿泊ホテルでのチェックインの後は、県主催の懇親会。青年委員会のテーブルの料理は、あつという間になくなってしまいます。まだ飲み足りない面々は、その後国分町にて、現場視察(?)をされたようです。

翌朝は、多くの方々は二日酔いのまま出発、せんだいメディアテーク→仙台市科学館→宮城県立図書館→仙台大観音と見学をこなしました。今回は車中でのビデオもタイトルエンドまで見ることができ、「あどはだり」せずに予定通り無事帰途につきました。

かなりハードなスケジュールでしたが、皆さんお疲れ様でした！ 来年は、三重県です。



黄金崎さん お疲れ様でした(後列左から三番目)

「冬を楽しむ雪国住宅」を考えよう

北方都市会議 in あおもり 協賛事業

楽しく冬をすごせる住宅の アイデア大募集

世界有数の景観都市である青森市において、冬を暮しいものではなく、もっと楽しめるような住宅のアイデアを広く募集いたします。青森ならではのオリジナリティあふれるあなたのアイデアをどしどしお寄せください。

応募要項

募集対象
「冬を楽しむ雪国住宅」について自由な発想を募ります。

募集期間
平成 13 年 10 月 20 日(土)～平成 13 年 12 月 10 日(月)

募集対象及び募集
「冬を楽しむ雪国住宅」審査委員会にて、厳正なる審査の上、平成 13 年中に審査し、下記の要項者 10 名を選出します。

性別：男性・女性、職業・居住地、資格は一切問いません。 建設 5 万円程度
年齢：18 歳以上 65 歳未満。 建築 3 万円程度
入賞者：2 名(各 1 名) 建築 1 万円程度
特別賞：1 名(各 1 名) 建築 1 万円程度

募集対象の作成
審査委員会において入選者のアイデアの模型を作成します。

募集要項
平成 14 年 2 月 7 日北方都市会議開催場所に発表し、作品及び模型の展示を行います。

その他
応募作品の著作権は(社)青森県建築士会青森支部に帰属するものとします。応募作品は返却しません。

●お問い合わせ(主催)
(社)青森県建築士会 青森支部事務局
〒030-0803 青森市安方 2 丁目 9-13 建設会館 1 階
TEL.017-773-2878 FAX.017-723-7105
ホームページアドレス <http://www.aaba.gr.jp/>

〈協賛〉青森市
〈後援〉(社)青森県建築士会・(社)青森県建築士事務所協会・(株)東奥日報・NHK青森放送局・青森放送(株)・(株)青森テレビ・青森朝日放送(株)
(株)エフエム青森・青森ケーブルテレビ(株)
※青森市で主催している北方都市会議住宅国際設計競技とは関係ありません。

“冬を楽しむ雪国住宅”デザインコンペ

いよいよ、北方都市会議 in あおもり協賛事業「楽しく冬をすごせる住宅のアイデア募集」が始まりました。募集期間は平成 13 年 12 月 10 日までとなっています。

お子さんや、お近くの方々にも、是非お知らせください。募集要項は支部ホームページにも掲載しています。

本号のハイライト

| | |
|---|--------------------|
| 1 | 【報告】第 44 回建築士会全国大会 |
| 2 | 「冬を楽しむ雪国住宅」デザインコンペ |
| 3 | 【報告】20 歳代建築士の集い |
| 4 | 11 月定例会のお知らせ |

【報告】全国大会フォーラムⅡ 第3分科会「20歳代建築士の集い」 ～Deep impactな建築志～

平成13年9月6日、仙台。

全国大会1ヶ月前のこの日、最初の打合せがあった。宮城からの連絡は突然で、正直に告白すると、私はこの時、この日が「本番」だと思っていたくらいだった。

打合せが始まるも、何も話す内容が無い。どんな一流のシェフも材料が無ければ、料理は作れないだろう……先行き不安だ。結局、9月29日にもう1度集まる事だけを決めて、その日は別れた。

9月29日、仙台。参加予定者の数が不足、急遽、東北6県の各建築士会に追加を要請。20歳代ってそんなにいるの？ 素朴な疑問が脳裏に浮かぶ。見渡せば6県の代表も20歳代は2人(青森と福島)だけ。偏頭痛発生。

時間割と次第を煮詰め、何を、どのように、どれくらいの時間でやるか？ を決めて行く。何かが形になって行く時間というのは楽しいもので(建築士のサガ?) 気付けば夜。でも皆の顔は晴々としていた。各班ごとに趣向を凝らした内容で、自負もあったのだと思う。余談だが、リンゴジュースを人数分、自費で支払う羽目になってしまったのは御愛敬。

(各班とも名産品を記念品として配付した。我が班は宮城建築士会からのサブリーダーが「リンゴジュースを飲みたい」と主張し決)

10月5日、仙台。いよいよ当日。やるだけの事はやった。後は野となれ山となれである。臨機応変、出たところ勝負を合言葉にいざ出陣。

建築士とは？ 建築志とは？ 夢や希望や情熱と、妥協や諦め漂う現実の狭間で、我々は何が出来る？ どうすればいい？

ある人が言った。建築士は職人で法律家で芸術家で商売人だと。またある人が言った。建築士とは建築のプロで、そして本当のプロにならな

ければならないと。

唯一無二の解答なんて永遠に分からない。星の数ほども答えはあって、きっとどの解答だって間違っていないから。

今回の解答は5通り。顧客の声に耳を傾け、自分の夢を見詰め直し、手段を模索し、意見を交わす。理想を求めて新会社を設立する事も1つの方法なのだろう。

各班が発表を終えた。皆が、語り足りない御様子。しかし会場は無情にも閉幕。

いやいや場を変え、時を変え、この集いは終わらないのだ。次回は三重県。参加可能なあと数年、いっそ皆勤でも狙おうか。しかしテーブルリーダーだけは、もうやるまい。

(平塚 勝)

11月定例会のご案内

日時 平成13年11月22日(金)18:30～

場所 アウガ 5階 ワーク室2(駐車場無料)

- 議題
1. 北方都市会議協賛事業について
 2. 第2回ロードネーム募集について
 3. その他

※今月は通常の週と異なりますのでご注意ください。

連絡先 工藤真人建築設計事務所まで

TEL:735-9028

FAX:735-9034

E-Mail:mahito@juno.ocn.ne.jp

定例会の出欠は早めに

ご連絡くださる様をお願いします!

※FAX で送信の場合は、下記フォーマットをご利用ください。

青年委員会 11月定例会 11月22日(金)

出席 欠席 致します(どちらかに○をつけてください)

氏名

TEL